

# 収入向上・女性の自立

## 貴重な現金収入源「炭」の生産と環境破壊 — 奨学生カルメラの村を訪ねて —

昨秋、女子の高等教育を推進する団体の申し出を受けて、奨学生候補として推薦したカレッジ学生カルメラ(P3参照)について、より詳しい資料が必要になり、11月訪問時に彼女の村ダタルフィタックを訪ねてみました。



カルメラさんの兄と炭焼窯

まず目についたのは集会所に積まれた出荷を待つ炭袋の山です。この村の主産業は、コーン、ココヤシと炭の生産・販売で、彼女の父親の年1万ペソも炭の販売収入を含みます。

煙が上がっている共同炭焼窯を見学しました。2昼夜で一窯10袋の炭ができ、一袋60ペソで販売するので600ペソの収入になるそうです。イピルイピルやブヨブヨと呼ぶ灌木の炭は硬木のナラ、ナボル等と比べると品質は落ちるが、近くのコロナダル市内ではまだ75%の世帯が炭を燃料にしているため需要はあるそうです。年3回のコーン収穫の端境期の貴重な収入源です。しかし、この炭焼きで雑木、灌木まで伐採されつくされて9月には村はずれの山で地滑りが起きて6人が犠牲になりました。全員ビラーン人です。地元政府は以前から伐採を禁止し植林を勧めますが、生活のための違法伐採はあとを絶ちません。



2年前の苗木育成実習  
農業専攻の元奨学生ボニファシオ(右端)からコーヒー苗の説明を聞く住民(右から2人目カルメラの父)

このダタルフィタックはHANDSが2年前に苗木育成と農業研修事業を支援した3地区の一部でもあります。

果樹苗が実る数年後には、環境破壊につながる炭焼きの代替収入源が増えたと期待しています。されます。

## 伝統工芸技術を生かせるレイクセブ町 ティボリ民族女性の強みと課題

ココヤシの葉で編んだ屋根材1枚1ペソ(約2円)、バーベキュー用竹串100本も同じく1ペソ。モロの村やビラーン民族の村で家計を支える女性たちの手間賃を聞いたあとで、レイクセブ町ティボリ民族の組合COWHED店舗で買い付けをすると、同じ先住民族でも、ティナラク織や刺繍など伝統工芸技術をもつ女性の強みに改めて気付かされます。

私たちが支払うティナラク織一卷6,000ペソは、糸作りから始まる3ヶ月の労働の対価として十分ではないはずですが、小学生の教育費が年1,000ペソの社会では価値ある稼ぎです。精巧な刺繍のテーブルクロスは1300ペソでした。竹串やヤシの葉屋根材作りとの時間単価の差は明らかです。



HANDS 会員特注の  
ネックレス完成



寄贈メガネではかどる刺繍

私たちが関わる地域のなかで最も確かな自立の手段を持つレイクセブの女性たち、その150名ほどが属するCOWHEDが、マイクロファイナンス事業Lowil Loan Programの運営も担うようになって1年が過ぎました。12月中旬にはその評価作業が行われたようで、COWHEDの新年のあいさつには、いくつか改善点の指摘は受けたが合格点をもらえたと書き添えられていました。

マイクロファイナンスを含めて順調なCOWHEDの運営には、売り上げ増加と確実な代金回収が不可欠です。昨年末、2万ペソ(約4万円)の大口売掛金が回収できないので、HANDS注文品の追加前払いをお願いできないかという要請が届きました。クリスマス前で資金繰りが大変になったようです。

販路拡大や遅滞ない支払でCOWHEDの重要なパートナーになったHANDSですが、最近顧客から織の品質保持に注意をという助言を受けました。喜んでいただける製品販売のため、現地とのより緊密な連携を心がけたいと思っています。